

## 淡路島の沼島の昆虫相調査報告

小林 慧人<sup>1)</sup>・阪上 洸多<sup>2)</sup>・徳平 拓朗<sup>3)</sup>・福田 洵<sup>4)</sup>

### はじめに

2014年11月9日, 国立淡路青少年交流の家にて「淡路うずしおフェスティバル 2014」が開催され, いどうこんちゅうかんはブースを出した.

それに先立ち, 前日の8日, スタッフ7名で淡路島の南あわじ市沼島へ足を運んだ. 土生港からフェリーに乗って10分ほどで着く, 比較的アクセスの良い島である.

島は三波川帯に位置し, 結晶片岩から成っており, 世界的に珍しい鞘状褶曲型の岩石が見つかっていることから地質学的に有名な場所である. また, 釣り客でもにぎわう島である. しかし, 虫屋さんにとってはそれほど馴染みのある島ではないように思う. それは, 海岸沿いにウバメガシ, 内陸にシイといったように, 島全体が常緑樹のうっそうとしたイメージがあるからかもしれない.

虫さんがあまり入っていないこと, また, 淡路島本島とは対照的にシカ害の影響を被っていない点で, 現時点における昆虫相を明らかにしておくことに意味があると考えられる. 今回, 3時間少々と短い滞在であったが, 採集・観察した種(22科42種)を簡単に報告する. 具体的な場所ポイントや個体数は曖昧なものも多数含まれるため割愛する.

### 調査概要

日時: 2014年11月9日(土)

時間: 12:15 ~ 16:00

ルート: 泊区公会堂付近~西光寺~上立神岩

### 種リスト

甲虫目	クワガタムシ科	マメクワガタ
	テントウムシ科	キイロテントウ
		ナナホシテントウ
ベダリアテントウ		
チョウ目	シロチョウ科	キタキチョウ モンシロチョウ
	シジミチョウ科	ウラギンシジミ
		ウラナミシジミ
		ヤマトシジミ
		ヤクシマルリシジミ
	テングチョウ科	テングチョウ
	タテハチョウ科	アカタテハ
		イシガケチョウ
		キタテハ
		セセリチョウ科
カギバガ科	アシベニカギバ	
ツトガ科	シロオビノメイガ	
マダラガ科	ミノウスバ	
カメムシ目	カメムシ科	ミナミアオカメムシ
	ホソヘリカメムシ科	キバラヘリカメムシ
		クモヘリカメムシ
		ホソヘリカメムシ
	サシガメ科	アカサシガメ
ヨコバイ科	ツマグロオオヨコバイ	
トンボ目	トンボ科	ウスバキトンボ
	イトトンボ科	アオモンイトトンボ
バッタ目	キリギリス科	クビキリギリス
		ホシササキリ
	ツユムシ科	ヒメクダマキモドキ
		サトクダマキモドキ
	コオロギ科	ツツレサセコオロギ
		ミツカドコオロギ
	マツムシ科	マツムシ
	ヒバリモドキ科	シバズ
		マダラスズ
	カネタタキ科	カネタタキ
オンブバッタ科	オンブバッタ	
バッタ科	ショウリョウバッタ	
	ハネナガイナゴ	
	マダラバッタ	
	ヤマトフキバッタ	
カマキリ目	カマキリ科	コカマキリ

<sup>1)</sup> Keito KOBAYASHI 同志社大学理工学部; <sup>2)</sup> Kōta SAKAGAMI 神戸大学農学部; <sup>3)</sup> Takurō TOKUHIRA 神戸大学農学部;  
<sup>4)</sup> Jun FUKUDA 近畿大学農学部